



議会だより 忠岡

第23号
令和6年2月1日

◆発行／忠岡町議会 編集／議会広報委員会 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号 ☎0725-22-1122(代)

議会の設備が新しくなりました!



P16を参照

次回の議会日程

(令和6年 第1回定例会)
いずれも10時より(予定)

2月27日(火)	-----	本会議(町長施政方針、議案審議)
2月29日(木)	-----	総務事業常任委員会
3月 4日(月)	-----	福祉文教常任委員会
3月 6日(水)、7日(木)	-----	本会議(一般質問)
3月11日(月)、12日(火)、14日(木)		予算審査特別委員会
3月22日(金)	-----	本会議(付託委員会報告、採決等)

もくじ

令和5年決算審査特別委員会報告	2ページ
12月議会の議案審議状況・意見書等一覧	5ページ
総務事業常任委員会報告・福祉文教常任委員会報告	8ページ
福祉文教常任委員会報告・一般質問(三宅良矢)	9ページ
一般質問(河瀬成利・尾崎孝子)	10ページ
一般質問(松井匡仁・小島みゆき)	11ページ
一般質問(勝元由佳子・二家本英生)	12ページ
一般質問(前川和也・河野隆子)	13ページ
一般質問(今奈良幸子・是枝綾子)	14ページ
ごみ処理施設調査特別委員会報告・各種報告	15ページ
各種報告・編集後記	16ページ

令和4年度決算審査特別委員会 審査報告

- ・開催日：令和5年10月17日～19日
- ・委員長：今奈良 幸子(大阪維新の会・呈祥会) 副委員長：松井 匡仁(無所属の会)
- 委員：小島 みゆき(公明党)・二家本 英生(日本共産党)・前川 和也(大阪維新の会・呈祥会)
勝元 由佳子(改革忠岡)
- オブザーバー：北村 孝 議長

○ 一般会計決算の状況

■ 歳入決算額 87億6,017万1千円(前年度比8.4%の増)

前年度と比べて6億7,909万9千円の増額となった。
 主な要因は、国庫支出金で電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金の増や繰越金が増となったことなどによる。

■ 歳出決算額 83億3,855万1千円(前年度比11.0%の増)

前年度と比べて8億2,318万円の増額となった。
 主な要因は、東忠岡地区認定こども園整備工事や町立小中学校体育館床改修工事などで投資的経費が増となったことなどによる。

■ 決算収支

令和4年度の歳入歳出差引額(形式収支)は4億2,162万円の黒字となった。

区 分	令和4年度	前年度	増減額
歳入決算額	87億6,017万1千円	80億8,107万2千円	6億7,909万9千円
歳出決算額	83億3,855万1千円	75億1,537万1千円	8億2,318万円
差引額	4億2,162万円	5億6,570万1千円	△1億4,408万1千円
[令和4年度主要な施策・事業]			
[国からの新型コロナ交付金等活用事業]		[その他の財源による事業]	
・町ホームページリニューアル事業	1,206万1千円	・東忠岡地区認定こども園整備事業※	6億5,917万4千円
・小中学校給食費助成事業	3,224万2千円	・就学前施設給食費補助事業	2,494万9千円
・町立小中学校体育館床改修事業	1,531万3千円	・出産・子育て応援事業	1,327万8千円
・水道料金減免事業	4,989万4千円	・町民いこいの広場改修事業	1,407万2千円
・非課税世帯等生活支援事業	6,328万1千円	・ふるさと忠岡応援寄附金事業	9,906万6千円
など		・消防ポンプ自動車整備事業	2,552万円
		(※令和3～5年度事業の内、令和4年度決算額)	など

○ 特別会計決算の状況

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業勘定特別会計	17億9,810万円	17億9,177万8千円	632万2千円
介護保険特別会計	16億7,631万3千円	16億2,570万3千円	5,061万1千円
後期高齢者医療特別会計	5億383万8千円	4億9,327万3千円	1,056万5千円

■ 国民健康保険事業勘定特別会計

令和4年度の国民健康保険事業勘定特別会計決算は、歳入で17億9,810万円、歳出で17億9,177万8千円となり、前年度に比べて歳入は3,853万8千円(2.1%)の減、歳出は3,509万3千円(1.9%)の減となった。

■ 介護保険特別会計

令和4年度の介護保険特別会計決算は、歳入で16億7,631万3千円、歳出で16億2,570万3千円となり、前年度に比べて歳入は3,207万円(1.9%)の減、歳出は6,302万2千円(3.7%)の減となった。

■ 後期高齢者医療特別会計

令和4年度の後期高齢者医療特別会計決算は、歳入で5億383万8千円、歳出で4億9,327万3千円となり、前年度に比べて歳入は3,841万1千円(8.3%)の増、歳出は3,327万1千円(7.2%)の増となった。

○ 下水道事業決算の状況

令和4年度の下水道事業決算は、収益的収支差引額が7,303万4千円の純利益となり、資本的収支差引額が3億6,046万5千円の収支不足となった。この収支の不足は前年度の利益(減債積立金)や減価償却費等で補填する。

質疑応答 <部局ごとの質疑>

問 他市の監査委員が非常に良い監査・指摘をしており、今回の決算審査の参考にした。本来なら本町の監査委員にそうした監査をして頂きたい。

答 本町が定める監査基準に基づいて適切に監査して頂いていると認識している。

問 子育てワンストップサービスとは。

答 マイナンバー制度に絡みマイナンバーを利用して児童手当、こども園の入所等、自宅でのパソコンやスマホで手続きしていただけるサービス。

問 以前から要望している福祉バスの運行コースの件、確認中との事でしたが、現在の状況は。

答 現地でバス停設置できるか確認中、2カ所で廃止の声もあり丁寧に進めている。

問 障がい者の相談は、1事業所で年間2088件も対応している。負担減のため、相談窓口の増加を。

答 町でも10月から社会福祉士を配置し、今後、対応する。それでも負担が大きくなれば、事業所に働きかける。

問 町社協への補助金等について：社協へ天下りしている前福祉部長は現福祉部長の元上司。社協との価格交渉等が公正で適正金額なのか疑問。

答 福祉施策に精通しており町の思いを社協に反映させるための再就職と思っている。

問 泉州国際ツーリズムビューロ推進事業負担金については、現状では必要性が無いと思われるので一旦終了してはどうか？

答 うまい泉州DMOなど泉州一丸で売り出すのが、このビューロの意義なのでその辺を持ちながら考える。

問 令和5年12月より管理不全の空き家に対しては、固定資産税の減額が適応除外となるが忠岡町としてはどのように対処するのか？

答 法律の規定により減額適応を除外してまいる。

問 忠岡小学校の複合施設が令和4年度に解体されている。子どもの健全な育成の遊びを担保するため、再設置を。

答 来年度予算で、何かしらの遊具は設置する方向で予算計上は相談していきたい。

問 ふるさと納税の使途の指定先として「福祉」「公共施設」「教育または施策全般」と3つあるが、教育と施策全般を分けるべきと考える。

答 町全体の施策と関わるので、教育部局と十分に協議をしながら積み立てていきたい。

問 生涯学習課が役場本庁から文化会館に移転し、スムーズに行政が執行できているのか。職員さんが役場と文化会館を頻繁に行き来しているように思うが。

答 対応しきれていない部分もあるが、人的な配置も含めて改善したい。

総括質疑 <大局的な質疑>

問 大阪府と本町とで共同で作成している中長期財政シミュレーションは人口減少・高齢化が町村の財政にどのような影響を与えるのか分析を行い、対応策を考えるものである。町民と共にまちづくりをしていく「協働」の観点から、公表すべきであると考え。

答 公表について差支えはないものと考え。議会のほうにも丁寧に説明していく。

問 プロポーザル方式は、企画提案による競争だが、随意契約である。審査は点数方式だが、選定理由の公表はしないのか。

答 現在、一定基準など定めた要綱は未作成。ガイドラインを作成中であり、新年度より事務を行いたい。

問 工事の発注・契約と違い委託契約は公表義務がない上に、議会の議決(=住民の審査)事項にもできないので高額でおかしな随意契約をしていてもわからない。高額な随意契約等の公表を。

答 調査研究をした上で対応していく。

問 適正な公金支出であるのか、支出の最終関門である出納部局や監査委員がチェックできない書類内容になっている。適正にチェック・予算執行をして頂きたい。

答 今後もわかりやすい根拠資料を付けるよう伝えていく。

問 コロナ過で中止となった事業が多かった。しかし、やり方を考えるとできたのではないかと思う事業がいくつかあった。創意工夫が役場として求められる。

答 接触機会が多い町主催の行事や啓発事業について、適切な手続きを踏んだ上で中止になったと考えている。

問 この2年間(令和3・4年度)で約9億円が黒字であり、基金に積み上げている。福祉向上に使うべきでは。

答 使える財源は限られている。将来の人口減による収入減や災害時の蓄えも必要。適切に使いたい。

問 英語検定の受験料の補助を行っているが、英検だけではなくTOEICやフランス語、ドイツ語検定などにも補助を拡大できないか？

答 英語力を身につける目的で英検の補助を行っているが、TOEICなども調査研究して行く。

問 庁舎の1階や文化会館の1階など、人が集まる場所だけでもフリーWi-Fiに出来ないか？

答 近隣市においても導入例は少ないため、もう少し時間をいただき検討してまいる。

令和4年度決算に対する意見集約

賛成

公明党

令和4年度一般会計及び各特別会計の歳入、歳出は黒字決算となった。長期に及ぶ食料品などの値上げが家計を圧迫する中、重要なのは所得向上によって物価高を乗り越え、暮らしを守ることである。賃上げの流れが、国民に広く及ぶまで政府は経済対策強化をしっかりとっていただきたい。決算の中身については、法人町民税は減だが、個人町民税、固定資産税、地方交付税、地方消費税交付金等々が増。そして、アフターコロナ社会に向け少子高齢化の進展や深刻化する児童虐待、子どもの貧困や学習機会の保障などの福祉や教育をはじめとする諸課題に対しても決してなおざりにせず、取り組みを積極果敢に進めていただくことを要望し本決算を認定する。

大阪維新の会
三祥会

財政調整基金を取り崩さず黒字化を成し遂げ、基金の上積みを行い、町債残高を減らすことができた財政運営を評価する。経常収支比率は100%を切っているがポイント数は悪化しており、財源確保と歳出削減に一層取り組まなければならない。公民連携、町民との協働、広域連携が重要である。大学や民間企業・団体と連携をしていただきたい。町民に主権者としてまちづくりに参画してもらうべく開かれた行政を実現していただきたい。人口減少が加速化し単独の行政で出来ることには限界がある。高石、泉大津、本町とで広域連携に関する協定が締結され大いに期待している。これらの点を踏まえた今後の取り組みに期待し、4年度決算を認定する。

無所属の会

本決算におきましては、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策関連での収支が大きく影響する決算となりましたが、地方債を着実に返済し、庁舎建設事業債の償還終了など、これまでの皆さんの努力が報われた実り多い年となりました。また、理由はともあれ、実質収支が黒字で維持できたことに加え、基金残高においても大きく伸ばせたことは、喜ばしいことでありました。しかし、今後の忠岡町は、老朽化施設の改修や少子高齢化に伴う更なる負担増で奔走してゆくこととなりますので、事務の効率化と事業予算の削減努力を行いながら、この時代の住民ニーズに合った事業を展開してくださることを期待し、令和4年度決算を認定する。

反対

日本共産党

令和4年度一般会計の決算は、約3億6千万円の黒字。しかし、住民の福祉向上の要求に応える姿勢が見られなかった。産廃焼却炉の誘致は、町と事業者のみで進められ、方針決定に大きく影響を与えた定性評価に住民は参加せず、基本計画策定のパブコメでは、住民からの意見の大部分を公開しないなど、住民の声を聞かないまま計画が進められている。今後、ごみ処理方針は、一旦計画を中止し、情報を住民に公開し、よく話し合うことを求める。国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料は高すぎる保険料である。基金に貯めこむのではなく、引き下げを求める。以上、令和4年度の一般会計、各特別会計、下水道企業会計の決算は、認めない。

改革忠岡

●歳入:古き悪しき慣例により町財産が隠れて外部へ流出・蓄積されている。適法・公平・透明な財産管理を実施することにも入札や町財産の貸付等により財産収入の増加を図ること。
●歳出:コロナ交付金の使い方や東忠岡認定ことも園整備事業費等々、巨額事業の予算執行の状況・内容が極めて不適切であった。審査の中で歳入・歳出の問題点と改善要望等を述べたが、R4年度はとて「住民全体」のための自治体運営とは言い難く、町職員の雇い主である住民として非常に不満。改めて「全体の奉仕者であって、一部のための奉仕者ではない(憲法)」、「最小の経費で最大の効果を上げる」という公務員の基本原則に立ち返って頂き、R4年度決算には反対。

審査結果

上記決算審査特別委員会の結果を受け、「令和4年度忠岡町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定」並びに「令和4年度忠岡町下水道事業決算認定」については、賛成多数により認定することに決定いたしました。(議決結果については6ページ参照)

12月議会(令和5年第4回定例会)の議案審議状況・意見書等一覧

議案番号	件名	議案内容	議決結果
認定第1号	令和4年度忠岡町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	令和4年度各会計決算についての認定 (議決結果は6ページ、審査内容は2~4ページを参照)	認定 賛成多数 (一括採決)
認定第2号	令和4年度忠岡町下水道事業決算認定について		
忠議第5号	特別委員会の設置及び選任について	本町における適正な議員定数についての調査・研究を行うため、議員定数調査特別委員会を設置し、委員を選任するもの	可決 全会一致
議案第39号	忠岡町議会委員会条例等の一部改正について	質の高い行政サービスの提供と職員の職場環境の改善を図るため、町の組織体制を見直すことに伴い、各関係条例について所定の改正を行うもの	可決 全会一致
議案第40号	忠岡町印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	個人番号カードの電子証明書を利用してコンビニエンスストア等で行う印鑑登録証明書の交付手続きの規定を追加するため、条例改正するもの	可決 全会一致
議案第41号	忠岡町議会議員の議員報酬及び費用弁償等条例の一部改正について	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じ、議会議員の期末手当の支給率について引上げるため、条例改正するもの	否決 反対多数
議案第42号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じ、一般職の職員の給料表、期末手当及び勤勉手当の支給率について引上げるため、条例改正するもの	可決 全会一致
議案第43号	忠岡町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じ、会計年度任用職員の期末手当の支給率について引上げるため、条例改正するもの	可決 全会一致
議案第44号	忠岡町一般職の職員の管理職手当に関する条例の一部改正について	組織の活性化と、職員のモチベーションを高め住民サービスの向上を図ることを目的に、管理職員間の手当の金額のバランスを是正し、その責任に見合った額へ見直し、一部引上げるため、条例改正するもの	可決 賛成多数
議案第45号	町税条例の一部改正について	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行及び、地方税法の一部改正により、課税方式の統一並びに住民税申告義務に関する規定等について所要の改正を行うため、条例改正するもの	可決 全会一致
議案第46号	手数料条例の一部改正について	地方公共団体の手数料の標準に関する政令が一部改正され、認定高度保安実施者の保安規制に関する手続及び特定の規定追加に伴い所要の改正を行うため、条例改正するもの	可決 全会一致
議案第47号	令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第4号)について	一般会計歳入歳出予算の総額に2億448万2千円を追加し歳入歳入予算を92億2千594万8千円とするもの	可決 全会一致
議案第48号	令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第5号)について	一般会計歳入歳出予算の総額に8千541万3千円を追加し歳入歳入予算を93億1千136万1千円とするもの	可決 賛成多数
議案第49号	令和5年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)について	国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳入予算の総額に879万5千円を追加し歳入歳入予算を20億7千640万4千円とするもの	可決 全会一致
議案第50号	令和5年度忠岡町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	介護保険特別会計歳入歳入予算の総額に82万1千円を追加し歳入歳入予算を17億9千179万2千円とするもの	可決 全会一致
議案第51号	令和5年度忠岡町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	後期高齢者医療特別会計歳入歳入予算の総額に2千528万6千円を追加し歳入歳入予算を5億3千671万3千円とするもの	可決 全会一致
請願第1号	忠岡町での「産業廃棄物焼却施設の計画」は一度立ち止まり環境汚染や健康被害について地域住民としっかり話し合うことを求める請願の提出について	忠岡町の巨大産廃焼却施設誘致を考える会より提出のあった請願の採択について審査するもの	不採択
議案第52号	請負契約の変更について(忠岡町民運動場建築及び解体工事)	令和5年第3回臨時会で議決を得た「忠岡町民運動場建築及び解体工事」の請負契約について、アスベスト含有塗材の除去工事が必要となったことに伴い、原契約の7千854万円を8千588万1千4百円に増額変更することについて、議会の議決を求めるもの	可決 賛成多数
議案第53号	手数料条例の一部改正について	令和6年3月より戸籍及び除籍電子証明書提供用識別符号の発行の手数料に関する規定が追加されること等に伴い、現行手数料の徴収に係る事項等の改正を行うため、条例改正するもの	可決 全会一致
議案第54号	忠岡町国民健康保険料条例の一部改正について	出産被保険者に係る産前産後期間の所得割保険料及び被保険者均等割保険料の軽減措置を図るための所要の改正を行うため、条例改正するもの	可決 全会一致

※1:P.6の「賛成と反対が分かれた議案」、P.8,9の「各常任委員会報告」を参照

賛成と反対が分かれた議案

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし

認定 認定	第1号 第2号	結果	大阪維新の会・呈祥会				日本共産党			無所属の会		公明党		改革 忠岡
			河瀬	今奈良	前川	尾崎	是枝	二家本	河野	松井	三宅	北村	小島	勝元
・令和4年度忠岡町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について ・令和4年度忠岡町下水道事業決算認定について（一括採決）		認定	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議	○	×
反対意見		約3億6千万円の黒字を住民のくらしに回さず、住民の意見を聞かず産廃誘致計画を進めた												

※「P4の意見集約を参照」

議案 第41号	結果	大阪維新の会・呈祥会				日本共産党			無所属の会		公明党		改革 忠岡
		河瀬	今奈良	前川	尾崎	是枝	二家本	河野	松井	三宅	北村	小島	勝元
忠岡町議会議員の議員報酬及び費用弁償等条例の一部改正について	否決	○	×	×	×	×	×	×	○	×	議	○	○
反対意見	<ul style="list-style-type: none"> ・景気の冷え込みを直に主婦として実感。住民の事を考えると報酬の引上げは控えるべき ・物価高騰の影響で住民の暮らしが大変な中、期末手当の引き上げは住民の理解が得られない ・住民サービスの向上、ひいては生活しやすいまちづくりのために予算を充てたいため反対 ・議員間の合意より、党利党略やパフォーマンスが議会内で優先される事が明確になった ・經常収支比率は予断を許さない数値であり、町財政への負担は議員として断じてできない 												
賛成意見	<ul style="list-style-type: none"> ・このままでは将来、お金持ちでないと町議会議員が出来なくなる。真剣に考える時期 ・町議の報酬だけでは生活するのが苦しい。反対派は票稼ぎのパフォーマンス 												

議案 第44号	結果	大阪維新の会・呈祥会				日本共産党			無所属の会		公明党		改革 忠岡
		河瀬	今奈良	前川	尾崎	是枝	二家本	河野	松井	三宅	北村	小島	勝元
忠岡町一般職の職員の管理職手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×

※討論はなし

議案 第48号	結果	大阪維新の会・呈祥会				日本共産党			無所属の会		公明党		改革 忠岡
		河瀬	今奈良	前川	尾崎	是枝	二家本	河野	松井	三宅	北村	小島	勝元
令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第5号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議	○	○
反対意見	学童保育民間委託の方がコスト高。特定企業だけ情報が先に出ているなど不備が多い												
賛成意見	午後7時までの時間延長、委託しても事業主体は忠岡町、契約金額も毎年見直す等確認した												

議案 第52号	結果	大阪維新の会・呈祥会				日本共産党			無所属の会		公明党		改革 忠岡
		河瀬	今奈良	前川	尾崎	是枝	二家本	河野	松井	三宅	北村	小島	勝元
請負契約の変更について（忠岡町民運動場建築及び解体工事）	可決	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議	○	×
反対意見	<ul style="list-style-type: none"> ・3月議会でアスベスト調査の必要性を指摘・追及をしたのに、やらなかった町側のミス ・事前にアスベスト調査をしていたら、一般競争入札になっていた工事。疑念が晴れない 												
賛成意見	否決することで工期が遅れ、約1億円の補助金を失うリスクを選択するべきではない												

議案第47号 令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第4号)の主な内容

■ 補正予算額 2億448万2千円

(単位:千円)

歳出予算	204,482
1. 物価高騰への対応	204,482
①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業	204,482

歳入予算	204,482
①国庫支出金	204,482
・うち新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	204,482

議案第48号 令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第5号)の主な内容

■ 補正額 8,541万3千円

(単位:千円)

歳出予算	85,413
1. 人事院勧告に伴う人件費補正	6,141
・人事院勧告に伴う人件費補正	6,141
2. 過年度事業の精算に係る経費	12,377
①令和4年度の事業費確定に伴う国庫負担金等精算返還金	12,376
②令和4年度の事業費確定に伴う府費負担金等精算返還金	1
3. 特別会計への繰出金	18,350
①国民健康保険事業勘定特別会計繰出金	2,869
②介護保険特別会計繰出金	760
③後期高齢者医療特別会計繰出金	14,721
4. その他必要となる経費	48,545
①人事給与管理システム改修業務委託料	1,281
②ふるさと忠岡応援寄付金事業費(積立金含む)	20,000
③令和6年度機構改革に伴う備品等調達	4,606
④総合行政システム(住民記録)改修業務委託料	3,410
⑤総合行政システム(障害福祉)改修業務委託料	1,210
⑥ひとり親家庭医療扶助費	2,000
⑦子ども医療扶助費	12,000
⑧その他	4,038

歳入予算	85,413
①国庫支出金	3,440
②府支出金	3,233
③寄付金	20,000
④繰入金	43,406
⑤諸収入	15,334

◆ 債務負担行為

①大津川河川公園管理業務委託	9,680
②消防本部庁舎仮眠室等個室化事業	42,092
③放課後児童健全育成事業運営管理等業務委託	122,881

※ 債務負担行為とは将来の支出を予め約束する行為のことです。次年度以降に経費の支出(=債務)を義務付ける契約を締結するときに用います。



請願・意見書・決議

議案番号	件名	議決結果
請願 第1号	忠岡町での「産業廃棄物焼却施設の計画」は一度立ち止まり環境汚染や健康被害について地域住民としっかり話し合うことを求める請願の提出について	不採択
意見書 第11号	再審法改正を求める意見書の提出について	可決 全会一致
意見書 第12号	特定商取引法平成28年改正における5年後見直し規定に基づく同法の抜本的改正を求める意見書の提出について	可決 全会一致
決議 第1号	パレスチナ自治区ガザ地区における和平の早期実現を求める決議	可決 賛成多数

※上記 請願、決議につきましては賛否が分かれる結果となりました。

総務事業常任委員会報告 (令和5年12月8日開催)

12月議会に上程された案件の内、総務事業常任委員会に付託された7件の案件について審査を行いました
 委員長 松井 匡仁 副委員長 河瀬 成利 委員 今奈良 幸子/北村 孝/是枝 綾子/勝元 由佳子
 審議結果一覧 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 委…委員長のため採決には加わらない

議案番号	件名	討論	採決						議決結果
			松井	河瀬	今奈良	北村	是枝	勝元	
議案第39号	忠岡町議会委員会条例等の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第40号	忠岡町印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第44号	忠岡町一般職の職員の管理職手当に関する条例の一部改正について	反対討論あり	委	○	○	○	○	×	可決 賛成多数
議案第45号	町税条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第46号	手数料条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第48号	令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第5号)について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
請願第1号	忠岡町での「産業廃棄物焼却施設の計画」は一度立ち止まり環境汚染や健康被害について地域住民としっかり話し合うことを求める請願の提出について	反対討論あり	委	×	×	×	○	×	不採択

総務事業常任委員会は行政機構の運営や管理、ごみ処理、産業振興、災害対策、消防救急に関することなどを協議、調査、審議します。

賛成と反対が分かれた議案

議案第44号	忠岡町一般職の職員の管理職手当に関する条例の一部改正について
反対意見	他自治体よりも報酬が高いのに、職責を果たさず由々しき問題を連発。到底認められない
賛成意見	・管理職手当の増額と共に講座、研修を通じて、昇格や仕事への魅力に繋げていく事から賛成 ・機構改革で、部と課が減り、その分、部長・課長の仕事量が増える。手当の増額は妥当

福祉文教常任委員会報告 (令和5年12月11日、21日開催)

12月議会に上程された案件の内、福祉文教常任委員会に付託された案件について、12月11日に4件、12月21日に1件、それぞれ審査を行いました

委員長 前川 和也 副委員長 二家本 英生
 委員 小島 みゆき/三宅 良矢/尾崎 孝子/河野 隆子 オブザーバー 北村 孝
 審議結果一覧(12月11日開催分) ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 委…委員長のため採決には加わらない

議案番号	件名	討論	採決						議決結果
			前川	二家本	小島	三宅	尾崎	河野	
議案第48号	令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第5号)について	反対討論あり	委	○	○	×	○	○	可決 賛成多数
議案第49号	令和5年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第50号	令和5年度忠岡町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第51号	令和5年度忠岡町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致

審議結果一覧（12月21日開催分） ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 委…委員長のため採決には加わらない

議案番号	件名	討論	採決						議決結果
			前川	二家本	小島	三宅	尾崎	河野	
議案第52号	請負契約の変更について（忠岡町民運動場建築及び解体工事）	反対討論あり	委	×	○	○	○	×	可決 賛成多数

福祉文教常任委員会は教育や子どもの福祉、生涯学習、高齢介護、地域福祉、健康増進に関することなどを協議、調査、審議します。

賛成と反対が分かれた議案

議案第48号	令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第5号)について
反対意見	学童保育民間委託の方がコスト高。特定企業だけ情報が先に出ているなど不備が多い
賛成意見	<ul style="list-style-type: none"> ・通わせている親の要望である時間延長ができ、民間委託しても町が責任をとっていく。 ・民間委託ではあるが事業主体は忠岡町。保護者の要求であった7時までの延長に取り組む ・学童は小学校の中にあり安心安全な場所である。時間延長は保護者のニーズであり必要
議案第52号	請負契約の変更について（忠岡町民運動場建築及び解体工事）
反対意見	アスベストの事前調査をすれば、除去費も設計に上乗せでき、制限付一般競争で入札が可能
賛成意見	否決することで工期が遅れ、約1億円の補助金を失うリスクを選択するべきではない



三宅 良矢 議員（無所属の会）

馬瀬地域にある横断歩道の安全確保について

問 忠岡町馬瀬にあるアステージ前の横断歩道は以下のような状況

- 1 見通しの良い直線で車のスピードが出やすい
- 2 出勤や通学などで南北に横断する方が多い
- 3 夜間は暗がりによる見通しが悪い
- 4 1時間で停車した車の数が3台程度（個人調査）
- 5 11月の夜間には人身事故も起きている



以上のことを踏まえると押しボタン式信号機の設置が必要と考えるがいかがか？

答 〈産業まちづくり部長〉 先ずは物理的に設置基準に則り、設置可能かどうかを泉大津警察署と協議していく。それでOKとなれば、最終的に忠岡町として必要性を協議し、要望として挙げていく。

障がい者の作業委託の範囲拡大を通じた就業機会の確保について

問 忠岡町より障がい者の就労作業委託費用は、年間10万円程度である。他の市町村は公園などの清掃作業やイベントのスタッフなど、多岐に取り組んでいる所も見られる。忠岡町の落書き問題は大きな課題であるので、除光液などでの落書き落とし作業など、慣れれば容易にできる作業について、委託することはできないか？



答 〈産業まちづくり部長〉 提案するような内容の作業を、引き受けてもらえる作業所があるかどうかを、事業所ごとに調査していく。



河瀬 成利 議員

（大阪維新の会・呈祥会）

本町のKPIについて

問 KPIとは、組織の目標を達成するための重要な業績評価の指標を意味し、達成状況を定点観測することです。そこで、忠岡町として予想を超える人口減少中、「つながる つどう 人を育む 日本一小さなまち ただおか」に向けての、KPIを用いた総合計画並びに重点プロジェクトを問う。

答 〈町長公室次長兼企画人権課長〉KPIの進捗結果を参考に、目標達成に向けてどの点に工夫が必要か、どのような事業展開が必要か、担当部局等で検証し、計画については、効果検証会議の意見を踏まえ、必要に応じ見直し等を行う。



本町のごみ処理施設について

問 新たなごみ処理施設について、これまでの取組の経過、現在の状況を整理、総括した上で、今後の事業スケジュールや住民への周知・説明等についてどのようにお考えか。

答 〈住民部次長兼生活環境課長〉総合的な観点から公民連携方式を優先事業方式とし、今後のごみ処理方針について、9月12日にふれあいホール、11月7日から22日に町内10カ所の自治会館で住民説明を行った。

その後、令和5年1月に公募により選定された事業者と公民連携の基本協定を締結することについて、議会の議決を頂き、同年2月8日付で（仮称）地域エネルギーセンター等整備・運営事業公民連携協定を締結した。今後 令和6年4月1日オープンの中継施設の概要等については2月、3月頃に、また事業全体については、事業進捗に併せて周知を行う。



尾崎 孝子 議員

（大阪維新の会・呈祥会）

令和5年10月開所した3カ所目の子育て支援センター「ひだまり」について

問 子育て支援センター「ひだまり」の事業の特色は？

答 〈教育部長〉保健センター等との連携をとり子育ての悩みを抱えている家庭の拠り所となる施設を目指す。

問 インクルーシブ教育（障がいも多様性の一つとして尊重し、出発点で「違い」「共生」を当たり前を感じる社会）として児童発達支援センターとの併設はいかがか？

答 〈教育部長〉児童発達支援センターは福祉施策課題で、スペース的にも併設は難しい。

勤務先で保育を受ける広域保育について

問 近隣市町と連携を密にした保護者のニーズを叶える広域保育を希望する。本町の現状は？

答 〈教育部長〉広域保育は平成27年度から堺市以南の泉州地域9市4町において協議の場を持ち、各市町での差がないように配慮している。引き続き適正な事務連携を図り多様化する保護者ニーズの対応に取り組んでいく。

教育格差の解消に向けた塾代助成制度の導入について

問 さらなる学力の向上を目指し等しく質の高い教育のため中学3年生のみ所得制限なしで塾代助成制度の導入はいかがか？

答 〈教育部理事〉本町では子どもたちの学力向上として基礎の定着を図ることを目的に小学3年～6年生、中学生に低料金で「あすなる未来塾」を土曜日に実施している。

選択肢を増やす広域の越境入学の可否について

問 子どもたちの受け皿として、選択肢を増やす目的も含め校区や市域をまたいだ越境入学の条件を緩和出来ないか？

答 〈教育部長〉学校は住民基本台帳に基づき「最終学年での転出で卒業まで」や「学期途中の転出で学期末まで」等の本町が指定する要件を満たす場合は、保護者からの申し立てに基づき「就学校の指定変更」や「区域外就学」を柔軟に認めている。



松井 匡仁 議員 (無所属の会)

本町が目指す方向性と 将来の財政見通しについて

問 忠岡町においては、ここ数年、元々の事業計画には無い大きな施設改修事業や民間への業務委託などが次々に行われているが、計画にない事業は、財政的にも各課の日常業務にも大きな負担と混乱をもたらし、結局、無駄なお金と時間を使うことになるが、方向性を示す町有施設の管理計画等は作成しないのか？
また、民間への業務委託は、忠岡町役場での業務量を減らし、小さい役場を目指していると考えてよいのか？

答 〈町長公室長〉今年度、忠岡町公共施設等総合管理計画の改訂作業を進めており、目標実施年度や予算的な要素も取り入れているところである。
また、民間への業務委託については、住民サービスの向上を柱に必要なに応じて進め、将来の人口減少による税収減、少子化による人手不足などが予測されることから、持続可能なまちづくりのために行政のスリム化が必要と考えている。

問 現在、忠岡町においては、将来の財政見通し等は公表されていないが、将来にわたり持続可能な行財政運営を行うための指標となるので、ぜひ財政計画を作成していただきたい。そして、今後は基金への積立においても、減債基金や教育施設整備基金、墓地返還基金など、それぞれ返済・整備・管理といった計画を作成した上で、その計画に沿った形で基金の細分化をし、長期的な積立を行っていただきたいと考えているがいかがか？

答 〈町長公室長〉今後財政計画については、収支見通しをベースに公表を検討して行く。また基金への積立についても今後、必ず発生する各公共施設の改修事業に向け、将来世代への極端な負担にならないよう財政負担の平準化に努める手段の一つとして計画的な基金の積立について検討する。



小島 みゆき 議員 (公明党)

認知症対策について

問 今までの生活を継続できる共生社会実現についての認知症対策は。

答 〈健康福祉部長〉認知症サポーターの養成講座を開催、予防の脳トレ体操等の教室を開催。

問 本人、家族の支援も必要。共生社会の取り組みがあってもその場所や仕事場に行くにも移動が難しい。そういうお困りの方への対応は。

答 〈健康福祉部長〉本人、家族からの相談支援、各種情報提供サービスを充実し支援に繋げる。

子育て支援について

問 公明党は、誰もが子どもを安心して産み育てられ、十分な教育が受けられる社会づくりを国家戦略とし子育て応援トータルプランを発表、こども基本法が施行されこども家庭庁も設置された。子育て支援への実績と現状は。

答 〈健康福祉部長〉妊娠時から出産、子育てまでの伴走型相談支援を実施、面談は妊娠期65件、産後61件。

問 (仮称)こども誰でも通園制度は生後6カ月～2歳の未就園児を対象で、検証段階だが少子化対策、虐待を防ぐためにも重要な取り組み、実施するには。

答 〈教育部長〉モデル地域の実情、実績を注視し判断する。

ヤングケアラーについて

問 不登校の中にはいないとの事でしたが、生徒、児童の中には？また、ヤングケアラーの具体的支援策は。

答 〈教育部理事兼学校教育課長〉現在はいない。学期に1回生活アンケートを実施。変化を見逃さず実態把握に努め、専門家や福祉部局と連携する。

問 周知や認知度向上を目的とし、国はR4年からR6年の3年間を集中取組期間としている。研修やリーフレットの作成・配布を実施しているところもある。当事者である子どもが自分はヤングケアラーだ!と気づき、家族以外にも頼っていいんだよ!と知ることが大事!忠岡町はどうか。

答 〈教育部理事兼学校教育課長〉子どもの実態把握、理解促進に努める。



勝元 由佳子 議員 （改革忠岡）

義務教育課程の教育内容について

問 主要5教科のうち、社会科は軽視されがちな教科だが、「政治は生活」と言われるとおり我々の日々の生活と政治は直結しており、受験で重視される科目よりもむしろ社会科公民の知識は生きていく上で生涯、必要不可欠かつ生活の基盤となる重要な知識である。公民の知識が欠けると政治が歪み、国民・住民の生活が困る。子どもたちが「なるほど」と理解し身近に感じようような授業をしているか？

答 〈教育理事〉中学校では、民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について学習しており、忠岡町議会も取り上げ学習内容に関連付けながら学習している。

問 本町の教育内容を不安視する声も聞く。高い教育レベルを求める住民ニーズを満たせる授業内容になっているか？

答 〈教育理事〉タブレットを活用した個別最適化により、授業内容からさらに進んだ発展問題・知識を子ども自身が自ら調べて身につけられる授業をしている。

要介護・要支援の認定は適正か？ ～介護認定審査会の問題について～

問 介護認定審査会は、誰が審査委員かも含めて完全非公開のため、認定が適正かをチェックできない。①非公開の理由は？ ②公開すべきでは？

答 〈①福祉部長〉国の要綱等で原則非公開とされている。また、審査委員への便宜強要等の恐れもあるため非公開としている。

〈②公室次長兼総務課長〉原則公開だが、公開することにより公正かつ円滑な審議等が不当に著しく阻害され、会議の目的達成が困難な場合は非公開とすべきと考える。

問 認定を受ける住民側に不利な認定結果になったりしていないか？

答 〈福祉部長〉公平公正な判断がなされるよう、医療・福祉・保険分野の専門家が合議の上で適正な審査判断をしている。



二家本 英生 議員 （日本共産党）

ごみ処理方針を広域化から公民連携に

問 広域に向け、泉北環境との協議が進んでいたはず。しかし、2022年2月24日に行われた専門部会で、公民連携方式の案が突然示され、しかも、ごみ処分の企業名まで掲載されていた。結局、その方式を優先方式とし、現在にいたっている。専門部会の前に何があったのか。

答 〈住民部長〉2021年4月より調査を行い、その中で民間委託が出てきた。大栄環境とはその他プラ処分の委託契約を締結しており、定期的に営業に来られた折に、情報提供を頂く事もあった。ちょうど基本構想を検討する間に、調査研究が行われた。

問 方針変更について、住民から不安や反対の声がある。その声に対し、真摯に受け止めるのが町の役割ではないか。

答 〈住民部長〉住民への周知は必要であると思っている。法律や条例に基づいて行われる住民説明の機会がある。その折に説明する。

小中学校体育館の 空調設置工事の計画について

問 来年度、設置に向け、検討されていると聞いている。どのような予算措置をされるのか。

答 〈教育部長〉緊急防災減災事業債を活用し、令和6年度当初予算に実施設計を計上する予定。設計完了後、工事費を補正予算で計上し、事業の実施に努めたい。

障がい児支援サービスの拡充を

問 児童発達支援センターの設置は、町単独での設置が望ましいが、様々な課題もあり、現状は厳しい。それでは、機能訓練などの支援事業を拡充させる検討を。

答 〈健康福祉部長〉アンケートの結果、「地域での療育・リハ体制」に期待する声が多い。作業療法士などの専門職を取り入れた教室などで対応できないかどうか調査研究する。



前川 和也 議員 (大阪維新の会・呈祥会)

泉大津・高石・忠岡
「2市1町広域連携に関する協定」より問う

問 今回の2市1町の協定による取り組みは、これまでの広域連携に関する会議体の取り組みと比べてずいぶん具体的で、進展が期待できる。協定内容の「広報及びサービスの相互利用」について、広報では既に各々の広報誌で地域のイベント情報が掲載されているが、相互に利用できるサービスとは何を想定しているのか。

答 〈町長公室次長兼企画人権課長〉公共施設などの利用について調査研究をしていく。

問 「事務の共同処理」について、総務省の報告書では、定型的で裁量の余地が小さいもの、規模の拡大による効率化が可能なもの、などが共同処理に取り組みやすい事務の特徴とされている。大阪府の報告書では、具体例として公平委員会と行政不服審査会が取り上げられているが本町の考えは。

答 〈町長公室長〉共同処理の必要性を認識し様々な面で連携を模索していく。

問 「人材の共同採用」について、技術職の確保が困難を極めているがいかにして人材確保を行うのか。複数の県では県が上乘せ採用し市町村に派遣するという方法を検討しているとのこと。2市1町で受け皿の整備を行い府に共同で要望すべきでは。

答 〈町長公室長〉大阪府東部で共同採用を実施した事例があり参考にしたい。また、他県の事例をもとに要望を行っているが今後も検討を進める。



河野 隆子 議員 (日本共産党)

クリーンセンターを来年3月で止める
計画だがまだ数年使えるではないか

問 現在のクリーンセンターは令和2・3年に約6億円もの修理代をかけてきた。当時、町は令和9年まで使えると説明していた。急いで火を止めなくても数年使えるではないか。

答 〈住民部長〉定期的な維持更新工事が必要である。費用をかけていけば数年は使用できる。

来年4月から家庭ごみをなぜ三重県まで
9年間運搬・焼却を委託するのか

問 遠い三重県伊賀市まで運ぶのか。伊賀市までゴミの運搬費用はトン当たり6,000円、処理費はトン当たり35,000円。し尿処理場解体の約2億円が上乘せされていると言う。しかし町は2億円の根拠を示さず、相手企業の言い値と言われても仕方がない。適切な金額か議会でチェック出来ないではないか。

答 〈住民部長〉プロポーザルで事業者から提案された金額。費用の詳細については、今後委員会などで説明したい。

クリーンセンターを運転しながら
時間をかけて住民と話し合うことが必要

問 町は、住民に産廃施設と説明していない。また民間の産廃施設に忠岡町はものが言えないのでは。住民自治と忠岡町の自治権を失うことになるのではないか。

答 〈町長〉住民にはしっかり説明したと思っている。今後も説明をし、粛々と前へ進めたいと思う。

答 〈住民部長〉本町には大変な責任があるゆえ、3つの案から精査し決まった。

府下でも増えてきている
補聴器購入の補助を本町でも実施を

問 世界保健機構(WHO)の発表によると加齢性難聴は認知症のリスクが約2倍と言われている。府下でも泉大津市に続いて、岬町でも実施された。本町で試算すると、わずか100万円の予算で出来る。早急に実施されよ。

答 〈健康福祉部長〉今後、他市町の申請状況や効果の調査を続けてまいりたい。



今奈良 幸子 議員 (大阪維新の会・呈祥会)

森林環境税・森林環境贈与税について

問 森林環境贈与税の使途の現状と今後の方向性は?

答 〈産業まちづくり部長〉地元大阪産の木材で都市公園の老朽化した木材遊具の更新、大阪泉州産の出産記念品の積み木に活用。様々な事業展開ができるよう努める。

認定こども園の保育士・幼稚園教諭の人材確保とスキルアップについて

問 保育士・幼稚園教諭の広域での相互派遣や人材交流についてどのように考えるのか?

答 〈教育部長〉今後調査研究をしていく中で実施可能な環境となれば検討してまいりたい。

共働(協働)・共創による社会の実現のためのプラットフォームについて

問 本町を盛り上げたい方へのプラットフォーム作りを行う考えは?

答 〈町長公室次長兼企画人権課長〉考えてない。規模に応じたボランティアの仕組みの構築をしている。

さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)について

問 さくらねこ無料不妊手術チケット交付事業の実績は?

答 〈住民部次長兼生活環境課長〉2団体が登録。手術実施報告済みチケットは46枚。8か月間、特にトラブルや住民からの苦情などなく活動を実施している。

問 保護する猫にも活用できる不妊去勢手術補助を行う考えは?

答 〈住民部次長兼生活環境課長〉事業の実施可能性については今後の地域猫活動の実施状況、町の財政状況などを勘案しながら調査研究を行う。

防災(ペット同伴避難・同行避難)について

問 みんなが助かる避難には同行避難・同伴避難・分散避難がある。本町の災害時のペット対応、対策の進捗状況は?

答 〈町長公室長〉指定避難所における同行避難はできない状況。

問 進んでいない理由は?

答 〈町長公室長〉飼養スペースの確保と住民のご理解とご協力が必要。



是枝 綾子 議員 (日本共産党)

産廃焼却施設の環境基準を守るだけでは、環境が悪化するではないか

問 忠岡町は6月議会で、「大きな焼却炉は、ダイオキシンの環境基準が小規模炉の50分の1だから、今よりも環境は悪化しない」と答弁したが、本当にそうなのか?

▶大規模炉では排ガスのダイオキシン類の環境基準が、1㎡あたり、0.1ナノグラム。小規模炉は、5ナノグラム。基準値だけ比較すると大規模炉は50分の1

▶しかし、忠岡町クリーンセンターは1日、20トンを焼却し、ダイオキシン類は1㎡あたり0.03ナノグラム。すでに、大規模炉の環境基準0.1以下である。悪化させないなら、現在の0.03ナノグラムと比較すべきである。

▶町が誘致する産廃焼却施設は1日200トンを焼却し、10倍の排ガス量である。環境を悪化させないのであれば、誘致する産廃焼却施設は、忠岡町クリーンセンターの排ガス濃度の10分の1=1㎡あたり0.003ナノグラム以下にしないと話が合わない。

▶これは、泉北3市の泉北環境施設整備組合1号炉の排ガスのダイオキシン類0.056ナノグラム(R.5年7/19)よりも低い数値である。町が誘致する産廃焼却施設に、このような厳しい基準を求めることができるのか? 町の説明する、小規模炉に比べて50分の1という大規模炉の環境基準0.1ナノグラムを守るだけでは、今よりも環境が悪化するではないか。

答 〈住民部長〉今より良いか悪いかを証明せよと言うのであれば、新しい施設ができて測定しないと答えすることができない。一般的な他の施設を見るとかなり低い値で運営されている。

問 「現状より悪くならない」と6月議会で答弁したではないか。

答 〈住民部長〉現在も環境基準を守っており、新しい施設になっても環境基準は守って運営していく。

忠岡町ごみ処理施設調査特別委員会（第7回）

開催 令和5年12月19日

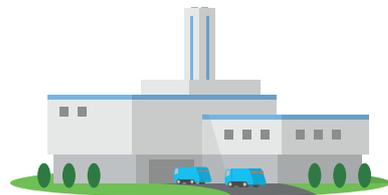
〇ごみ処理施設の整備・運営及び委託処理等の進捗状況について

委員長／前川和也

副委員長／河野隆子

委員／河瀬成利・今奈良幸子・小島みゆき・二家本英生・是枝綾子・松井匡仁・三宅良矢・尾崎孝子・勝元由佳子

オブザーバー／北村 孝 議長



令和5年12月19日、第7回の委員会が開かれました。「ごみ中継施設工事の進捗状況と全体のスケジュール」「大阪府の環境アセスメント制度」の資料が提出され、質疑が行われました。

質疑応答

問 この4月から、町のごみ焼却が三重県の企業に委託される。クリーンセンターを中継施設に積み替え、運搬されるが、1日に何台通行するのか？

答 大型10トン車両が通常は1台、ごみ収集の多い日は、2台になる。

問 （環境アセスメントについて）本事業の環境的影響を受ける地域はどのようにして決定されるのか？

答 地形や気候等、様々な要因を専門的に考慮して、どの範囲までが対象に含まれるかを大阪府が設定する

問 企業との契約における内容チェックやレビューを、AIによる法律サポートを活用し最先端の技術で合理的にスピード感をもって行うことはできないか？

答 まずは情報収集を進める

問 産廃焼却施設を建設するにあたり、大阪府が示している環境アセスの項目すべてが対象になるのか

答 5つの大項目と詳細部分で数十個あるが、対象はすべてではない

問 府の環境アセスで住民が意見を聞くところがあるが、住民が知らない間に終わってしまう。町が広くお知らせをし、意見を多くもらう姿勢はあるのか？

答 府でもされるが、忠岡町のホームページや広報で周知していく

各種報告

令和5年度市町村トップセミナーが開催されました

開催日：令和5年10月30日（月）
 場所：大阪市中央区 シティプラザ大阪
 テーマ：「地方資源を活用した地方創生の実現を目指して」
 講師：
 ・日本旅行「おもしろ旅企画ヒラタ屋」 平田 進也 氏
 ・一般財団法人日本インバウンド連合会 中村 好明 氏
 ・グッドニュース情報発信塾 大谷 邦郎 氏
 参加者：忠岡町議会 議長 北村 孝、副議長 是枝 綾子

令和5年度町村議会議員正副議長等研修会が開催されました

開催日：令和5年11月2日（木）
 場所：大阪市中央区 シティプラザ大阪
 テーマ：「地域を活かしたまちづくりをおこなうために
 ～エリアマネジメントによるまちづくり～」
 講師：東北大学大学院法学研究科 御手洗 潤 氏
 参加者：忠岡町議会 議長 北村 孝、副議長 是枝 綾子

議会議場音響設備等改修工事報告

老朽化が進み、マイクが故障したり、傍聴席スピーカーが聞こえにくくなるなど、不具合が生じていた議会議場内の音響設備等を24年ぶりに入れ替えました。

今回の機器更新は傍聴者の皆様に、よりわかりやすく、より「開かれた議会」となることを目指し行われました。皆様の議会傍聴をお待ちしております。

更新内容

- 各席上のマイクを全て入れ替え、立った時に音を拾いやすいグースネックタイプのマイクにしました。
- 場内スピーカーを設置し、議場全体に音が響くようになりました。
- 場内カメラを入れ替え、議員や職員の顔がはっきり見えるようになりました。
- 場内モニターを新たに設置し、議員の発言時間残時間がわかりやすくなりました。
- 傍聴席に大型モニターを設置し、議会の様子が見やすくなりました。また、議会での発言をリアルタイムで字幕にし、モニター上に映像と共に表示することで、各員の発言を文字で追うことが出来るようになりました。

<総事業費> 2,145万円



第67回町村議会議長全国大会が開催されました

開催日：令和5年11月29日（水）
場 所：東京都渋谷区 NHKホール
参加者：忠岡町議会 議長

渡部全国町村議会議長会長のあいさつに続いて、小里内閣総理大臣補佐官、渡邊総務副大臣、石川内閣府副大臣、工藤内閣府副大臣、森山自由民主党総務会長、吉田全国町村会長が祝辞を述べられました。

大会では、「東日本大震災からの復興、原子力発電所事故への対応及び大規模災害対策の確立等を求める特別決議」、「少子化対策の推進とこども・子育て政策の強化を求める特別決議」、「農業・農村政策の一体的な推進による食料安全保障の確立を求める特別決議」についての特別決議など各種要望、決議が朗読され、それぞれ満場一致で決定されました。

大会終了後には、フリーキャスター・事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子氏による講演「地域から輝く日本へ～未来への選択と責任」が行われました。



編集後記

令和6年が幕を開けました。昨年は技術の進化をより身近に感じる事ができる、始まりの年であったと思います。

さて、下の画像はAIが作成した架空の人物です。無料でしかも素人が簡単に、この様なものを作る事ができます。もちろん著作権も存在しません。今後は皆さんの身近なところに、このようにして創作された著作物であふれていくでしょう。

そのような技術の進化は人類を豊かにしていくとされている反面、悪用される懸念もあり、世界的な議論が必要であると思われまます。



忠岡町議会広報委員会